

# 第74期 報告書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで



新光電気工業株式会社

# 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申しあげます。また、平素は当社事業運営にひとかたならぬご支援を賜わり厚く御礼申しあげます。

さて、第74期報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申しあげます。

半導体産業は、昨年後半以降の世界的な景気悪化に伴い、急激な市場縮小を余儀なくされましたが、中長期的には、パソコン・携帯機器の高機能化、新興諸国を牽引役とする市場の拡大、さらなる半導体の用途拡大などにより成長の持続が見込まれます。

一方、急速に進化する高集積化・高速化等の技術革新により、製品の世代交代が従来以上に加速化するとともに、絶えず変化する市場のニーズに低コストかつ柔軟に対応し得る開発・生産体制を構築することを要するなど、生き残りをかけた世界規模での競争がさらに一段と激化することが予想されます。

当社グループは、このような産業にあって、徹底した現場主義により製品の開発、設計から生産、出荷にいたる「ものづくり」のすべての段階において革新をはかり、一層の合理化・生産性の向上に努めるとともに、創業以来培ってまいりました技術力をもとに、お客様のニーズに速やかに対応し、明確に差別化された製品の開発・量産化を進め、競争力の向上ならびに収益の確保に努めてまいります。

## ■ 平成20年度の事業概況

金融危機が実体経済への悪影響を急速に拡大  
全面的に需要が激減する極めて深刻な市場環境

当期の経済環境は、サブプライムローン問題を発端

とする世界的な金融危機が実体経済への悪影響を急速に拡大させ、日本におきましても、輸出の急減や大幅な生産調整等により企業収益悪化が深刻化し、設備投資および個人消費が減速するなど、厳しい景気後退局面となりました。

半導体業界につきましては、世界的な景気の落ち込みを背景として、パソコンや携帯電話、デジタル家電等の主要用途向け市場において、期後半にかけて過去に例を見ないほどの規模とスピードで在庫調整圧力が高まり、ほぼ全面的に需要が激減する極めて深刻な市場環境に陥りました。

需要減少に伴う急激な在庫調整が大きく影響  
生産革新活動の推進による在庫縮減・生産性向上に注力

このような状況下において、当社グループにおきましても、半導体需要減少に伴う急激な在庫調整の影響を大きく受け、当期の連結売上高は、1,405億10百万円（対前期比34.6%減）となりました。収益面につきましては、大幅な受注環境悪化に対処すべく、全社において一段の経費削減および投資圧縮等の緊急対策を実行するとともに、生産革新活動の推進による在庫縮減・生産性向上に注力いたしました。急激な減産に加えて、製品単価低下の継続、さらには為替相場のドル安・円高の影響を受けたことなどから、連結ベースの経常損失は69億61百万円、当期純損失は60億42百万円と極めて厳しい結果となりました。

単独決算につきましては、売上高1,363億36百万円（対前期比34.9%減）、経常損失68億50百万円、当期純損失57億82百万円となりました。なお、当期

の配当につきましては、期末配当金を4円とし、中間配当金の4円とあわせて年間8円とさせていただきますました。

## ■ 今後の見通し

### 半導体製品の最終需要の不振が継続 製品価格の低下圧力が一層強まる

今後の経済環境は、日本におきましては、世界経済の落ち込みを背景として輸出の低迷が続ぎ、製造業を中心として生産調整局面の継続および投資抑制基調の長期化が予測されるほか、所得環境の悪化に伴う消費不振が一層進むなど、景況感是一段と厳しさを増すことが想定されます。また、米国経済につきましては、金融・経済対策の進展による景気の底入れが期待されるものの、雇用環境悪化による個人消費低迷の長期化も見込まれるなど、依然として先行き不透明な状況が継続するものと思われまます。

半導体業界におきましても、電気・電子機器、自動車等をはじめとする半導体製品の最終需要の不振がさらに継続することが想定される一方で、供給能力の過剰等を背景に稼働率は依然として低水準に留まり、本格的な回復にはなお相当の時間を要することが見込まれます。また、企業間競争の一層の激化と低コスト製品への需要シフト等により、製品価格の低下圧力が一層強まることも予測されるなど、市況低迷の長期化が強く懸念される厳しい状況が続くものと予想されます。

### お客様のニーズに即した新製品の市場投入に注力 高品質の製品を作りこむ卓越した製造現場を構築

このような厳しい状況に対処するため、当社グループといたしましては、全社において緊急対策を継続・徹底し、経営資源の最適化に努め、収益性の改善をはかるとともに、半導体パッケージのリーディングカンパニーとして、創業以来蓄積してきた半導体実装の要素技術をさらに深化・発展させることにより、お客様のニーズに即した新製品の市場投入に注力してまいります。また、熾烈な競争が繰り広げられる半導体市場にあって、現下の厳しい環境を乗り越え、「限りなき発展」を果たすべく、徹底した現場主義に基づく生産革新活動の推進に一段と拍車をかけ、高品質の製品を作りこむ卓越した「ものづくり」の製造現場を構築し、全社一丸となって収益構造の再構築に努めてまいる所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜わりますようお願い申し上げます。

平成21年6月



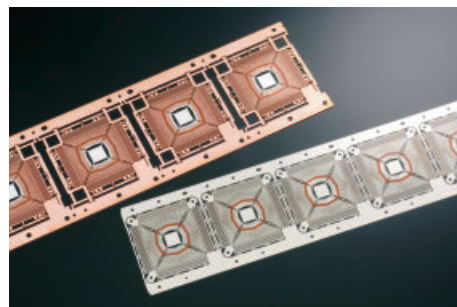
代表取締役社長

黒岩 護

## 部門別の状況

### ICリードフレーム部門

半導体市況悪化の影響を受け、プレスリードフレームおよびエッチングリードフレームの受注が減少したほか、LOC（リード・オン・チップ）タイプリードフレームについても、メモリー市場の低迷により需要が減退いたしました。この結果、当部門の連結売上高は208億79百万円（対前期比26.5%減）となりました。



リードフレーム

### ICパッケージ部門

フリップチップタイプパッケージは、パソコン市場の減速および在庫調整の影響を受け、また、アセンブリ事業においては、携帯電話やデジタルカメラ向け等の需要が急減し、それぞれ受注が大幅に減少いたしました。DRAM向けのBOC（ボード・オン・チップ）タイプBGA（ボール・グリッド・アレイ）基板は、需要低迷に加えて製品価格が低下し、MPU向けのヒートスプレッダーについては、期前半は好調に推移したものの、期後半の急激な調整により、いずれも売上が減少いたしました。この結果、当部門の連結売上高は1,065億49百万円（対前期比35.7%減）となりました。



フリップチップタイプパッケージ（左）とヒートスプレッダー（右）

## ■ 気密部品部門

セラミック静電チャックは、半導体製造装置市場の低迷が続き大幅な受注減少となりました。また、光素子用ガラス端子および携帯電話向けの精密接触部品についても、需要後退と在庫調整の影響により売上が減少いたしました。この結果、当部門の連結売上高は130億77百万円（対前期比37.3%減）となりました。



光素子用ガラス端子（上）と精密接触部品（下）

## 部門別売上高構成

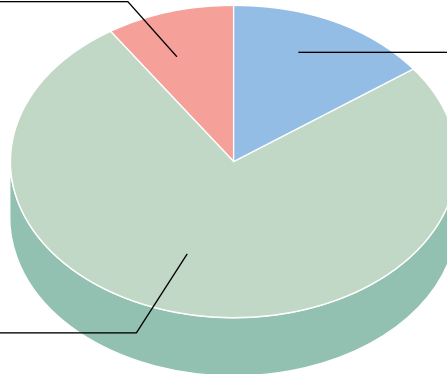
### 気密部品部門

130億77百万円（9.3%）

ICリードフレーム部門  
208億79百万円（14.9%）

### ICパッケージ部門

1,065億49百万円（75.8%）

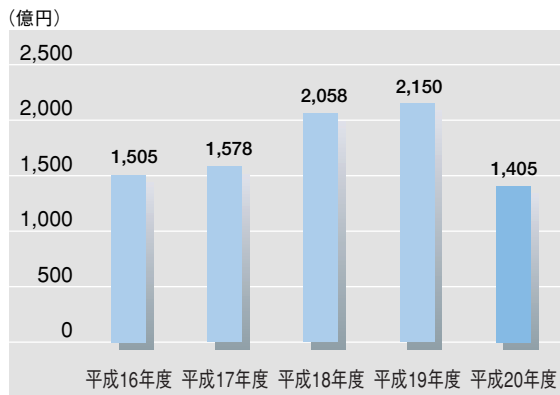


※（ ）内の数字は構成比率を表わしております。

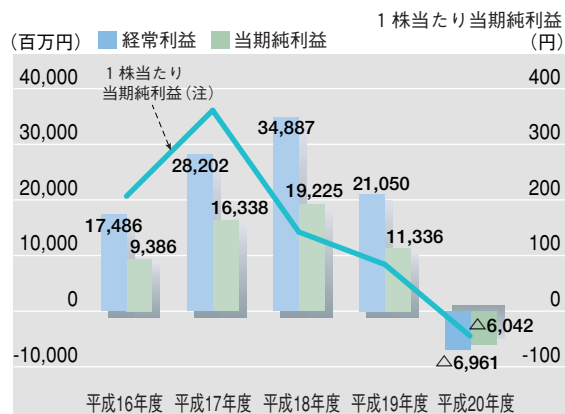
# 業績の推移

〔連結〕

## ■ 売上高

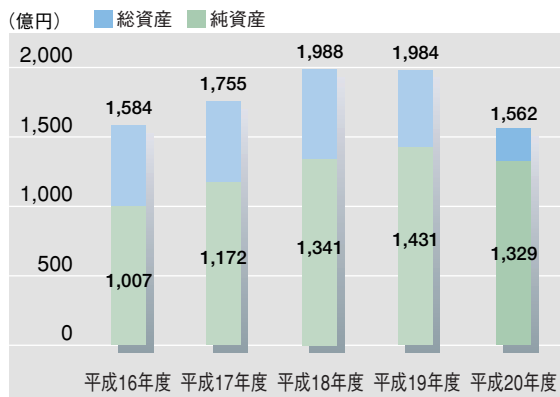


## ■ 経常利益／当期純利益

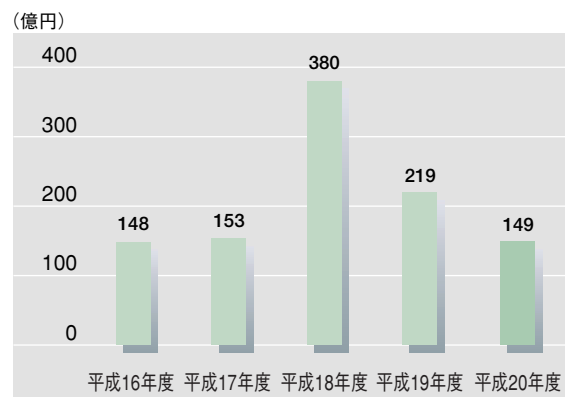


(注) 平成18年4月1日付をもって1株につき3株の割合で株式分割を実施

## ■ 総資産／純資産



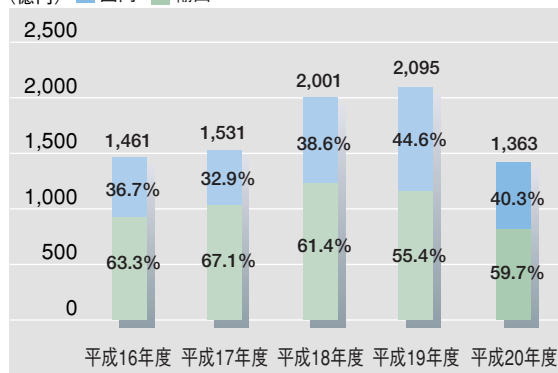
## ■ 設備投資



## 〔単独〕

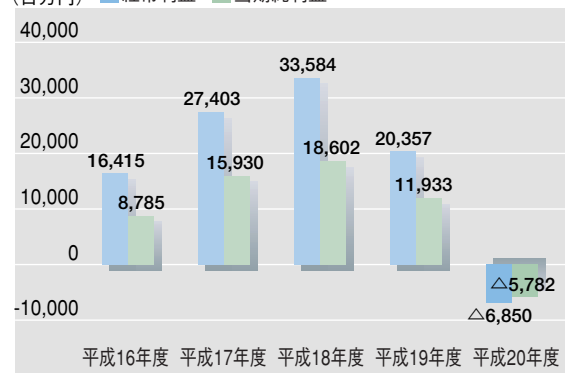
## ■ 売上高

(億円) ■ 国内 ■ 輸出



## ■ 経常利益/当期純利益

(百万円) ■ 経常利益 ■ 当期純利益



## ■ 営業成績および財産の状況の推移

区分	年度	平成16年度 〔第70期〕	平成17年度 〔第71期〕	平成18年度 〔第72期〕	平成19年度 〔第73期〕	平成20年度 〔第74期(当期)〕
売上高(百万円)		150,584	157,806	205,859	215,007	140,510
経常利益(百万円)		17,486	28,202	34,887	21,050	△6,961
当期純利益(百万円)		9,386	16,338	19,225	11,336	△6,042
1株当たり当期純利益		206円80銭	361円13銭	142円32銭(注)	83円92銭	△44円73銭
総資産(百万円)		158,499	175,541	198,862	198,475	156,266
純資産(百万円)		100,737	117,288	134,193	143,193	132,959
1株当たり純資産		2,243円26銭	2,603円29銭	1,000円33銭(注)	1,059円98銭	984円22銭
設備投資(百万円)		14,851	15,398	38,038	21,930	14,923
研究開発費(百万円)		3,175	3,477	3,975	4,396	4,651

(注) 平成18年4月1日付をもって1株につき3株の割合で株式分割を実施

## 〔連結〕

売上高(百万円)	146,121	153,123	200,100	209,582	136,336
経常利益(百万円)	16,415	27,403	33,584	20,357	△6,850
当期純利益(百万円)	8,785	15,930	18,602	11,933	△5,782

# 決算概要（連結）

## ■ 連結貸借対照表

平成21年3月31日現在

(単位：百万円)

科目	当 期	前 期	科目	当 期	前 期
資 産 の 部	156,266	198,475	負 債 の 部	23,306	55,282
流 動 資 産	83,077	121,369	流 動 負 債	18,999	50,958
現金及び預金	17,000	20,754	買 掛 金	8,066	33,281
受取手形及び売掛金	22,812	66,252	短 期 借 入 金	600	1,000
有 価 証 券	3,173	1,122	そ の 他	10,332	16,676
商品及び製品	551	1,146	固 定 負 債	4,307	4,323
仕 掛 品	2,396	5,627	純 資 産 の 部	132,959	143,193
原材料及び貯蔵品	1,066	1,640	株 主 資 本	135,702	144,716
預 け 金	31,430	20,940	資 本 金	24,223	24,223
そ の 他	5,492	3,902	資 本 剰 余 金	24,129	24,129
貸 倒 引 当 金	△ 845	△ 16	利 益 剰 余 金	87,441	96,455
固 定 資 産	73,188	77,106	自 己 株 式	△ 91	△ 91
有 形 固 定 資 産	63,782	71,530	評 価 ・ 換 算 差 額 等	△ 2,742	△ 1,523
無 形 固 定 資 産	1,250	1,547	その他有価証券評価差額金	124	150
投資その他の資産	8,155	4,027	為 替 換 算 調 整 勘 定	△ 2,867	△ 1,673
資産合計	156,266	198,475	負債純資産合計	156,266	198,475

## ■ 連結株主資本等変動計算書

平成20年4月1日～平成21年3月31日

(単位：百万円)

科目	株主資本				株主資本合計	評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等 合計	
平成20年3月31日残高	24,223	24,129	96,455	△ 91	144,716	150	△ 1,673	△ 1,523	143,193
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△ 2,972		△ 2,972				△ 2,972
当期純利益			△ 6,042		△ 6,042				△ 6,042
自己株式の取得				△ 0	△ 0				△ 0
自己株式の処分		△ 0		0	0				0
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額（純額）						△ 25	△ 1,193	△ 1,219	△ 1,219
連結会計年度中の変動額合計	—	△ 0	△ 9,014	△ 0	△ 9,014	△ 25	△ 1,193	△ 1,219	△ 10,234
平成21年3月31日残高	24,223	24,129	87,441	△ 91	135,702	124	△ 2,867	△ 2,742	132,959



## Consolidated Financial Statements

### ■ 連結損益計算書

平成20年4月1日～平成21年3月31日

(単位:百万円)

科目	当期	前期
売上高	140,510	215,007
売上原価	133,364	175,135
売上総利益	7,146	39,871
販売費及び一般管理費	13,969	14,744
営業利益	△ 6,823	25,126
営業外収益	1,287	1,996
営業外費用	1,425	6,073
経常利益	△ 6,961	21,050
特別利益	—	932
特別損失	2,727	1,664
税金等調整前当期純利益	△ 9,688	20,317
法人税、住民税及び事業税	131	6,202
法人税等還付税額	△ 105	—
法人税等調整額	△ 3,671	1,846
少数株主利益	—	932
当期純利益	△ 6,042	11,336

### ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

平成20年4月1日～平成21年3月31日

(単位:百万円)

科目	当期	前期
営業活動によるキャッシュ・フロー	33,526	37,644
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 20,348	△ 24,259
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,611	△ 3,622
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 674	△ 868
現金及び現金同等物の増減額	8,891	8,894
現金及び現金同等物の期首残高	41,885	32,990
現金及び現金同等物の期末残高	50,776	41,885

## 決算概要 (単独)

## Non-consolidated Financial Statements

### ■ 貸借対照表

平成21年3月31日現在

(単位:百万円)

科目	当期	前期
資産の部	155,703	196,303
流動資産	77,463	114,582
固定資産	78,240	81,720
有形固定資産	61,946	69,307
無形固定資産	1,248	1,544
投資その他の資産	15,045	10,869
資産合計	155,703	196,303
負債の部	22,809	54,629
流動負債	18,522	50,377
固定負債	4,287	4,251
純資産の部	132,894	141,674
株主資本	132,769	141,524
資本金	24,223	24,223
資本剰余金	24,129	24,129
利益剰余金	84,508	93,263
自己株式	△ 91	△ 91
評価・換算差額等	124	150
負債純資産合計	155,703	196,303

### ■ 損益計算書

平成20年4月1日～平成21年3月31日

(単位:百万円)

科目	当期	前期
売上高	136,336	209,582
売上原価	129,630	170,376
売上総利益	6,706	39,205
販売費及び一般管理費	13,883	15,157
営業利益	△ 7,177	24,047
営業外収益	1,888	2,330
営業外費用	1,561	6,020
経常利益	△ 6,850	20,357
特別損失	2,716	742
税引前当期純利益	△ 9,566	19,614
法人税、住民税及び事業税	—	5,813
法人税等還付税額	△ 105	—
法人税等調整額	△ 3,678	1,868
当期純利益	△ 5,782	11,933

## 生産革新活動の展開



当社は、製造業の根幹である「ものづくり」の強化をはかるべく、全社において「生産革新活動」を展開しています。

この活動は、トヨタ生産方式（TPS）の導入を骨格として平成15年5月に開始し、「現場主義」に基づく改善の積み重ねにより、5S、動線の短縮、小ロット化、各工程での品質の作りこみや連携の改善が進み、さまざまな効果が現れています。

お客様への製品納期は短縮化され、また、棚卸資産の減少によって、棚卸資産回転率が大幅に向上しました。

今後も、改善のテーマは無限として、市場変動に柔軟に対応できる強靱な製造現場を築き上げるため、全部門で「生産革新活動」を強力に推進してまいります。

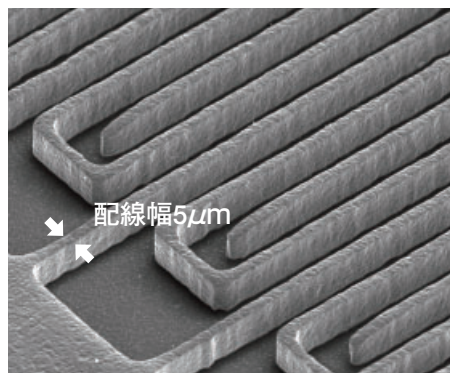
## ICパッケージの進化

日常生活に欠かせない携帯電話。通話やメール、カメラ機能だけでなく、テレビを見ることができ、電子マネーとして買い物もできるなど、機能は多様化しています。

このようなエレクトロニクス機器の進化の背景にはICの高性能化があります。それを支えるのがICパッケージの進化です。

例えば微細加工技術。当社では、髪の毛の1/10にも満たない $5\mu\text{m}$ （マイクロメートル）幅の配線技術を開発しました。これによって、電気特性の向上や、ICの小型化、高速化を実現し、ICの性能をさらに引き出すことが可能になります。

当社は市場のニーズにいち早く対応するため、半導体実装のさまざまな技術の開発に取り組んでいます。



幅 $5\mu\text{m}$ の銅配線を形成したICパッケージ

# 会社の概要

## Corporate Outline

(平成21年3月31日現在)

- 商号 新光電気工業株式会社
- 設立年月日 昭和21年9月12日
- 本社 長野県長野市小島田町80番地  
電話 (026) 283-1000〔代表〕
- 主な事業内容 リードフレーム、プラスチック・ラミネート・パッケージ、ガラス端子、サージアレスタ、精密接触部品などの製造・販売、ICアセンブリ
- 従業員数 4,052名(連結4,848名)
- 工場等 更北、若穂、高丘、新井、京ヶ瀬、新光開発センター、栗田総合センター
- 営業所等 東京、大阪、仙台、長野、名古屋、大分、福岡、フランクフルト、上海、成都、マニラ
- 子会社 新光パーツ株式会社  
新光テクノサーブ株式会社  
SHINKO ELECTRONICS (MALAYSIA) SDN. BHD.  
韓国新光マイクロエレクトロニクス株式会社  
新光電気工業(無錫)有限公司  
SHINKO ELECTRIC AMERICA, INC.  
韓国新光商社株式会社  
台新電子股份有限公司  
SHINKO ELECTRONICS (SINGAPORE) PTE. LTD.

# 株式の状況

## Shareholders' Data

(平成21年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 540,000,000株
- 発行済株式の総数 135,171,942株
- 資本金 24,223,020,480円
- 株主数 12,157名
- 大株主

株主名	所有株式数 (千株)	出資比率 (%)
富士通株式会社	67,587	50.00
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,122	7.49
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	8,992	6.65
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	6,299	4.66
ステート・ストリート・バンク・アンド・トラスト・カンパニー 505225	2,428	1.80
株式会社八十二銀行	1,836	1.36
全国共済農業協同組合連合会	1,336	0.99
朝日生命保険相互会社	1,239	0.92
バンク・オブ・ニューヨーク・シーエム・クライアント・アカウント・ジェイビーアールディ・アイエスジー・エフイー・エイシー	1,165	0.86
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託B口)	970	0.72

## 取締役および監査役

(平成21年6月26日現在)

代表取締役社長	黒岩 護
取締役専務執行役員	藤本 明
取締役専務執行役員	倉石 文夫
取締役専務執行役員	村田 明彦
取締役専務執行役員	石坂 宏一
常勤監査役	横山 和司
監査役	村嶋 純一
監査役	関根 政雄

## 執行役員

(平成21年6月26日現在)

常務執行役員	小川 喜彦	執行役員	清野 貴博
常務執行役員	今井 邦彦	執行役員	長谷部 浩
上席執行役員	井口 和治	執行役員	菊地 貴人
上席執行役員	三井 精造	執行役員	清水 満晴
上席執行役員	浅野 義博	執行役員	反町 東夫
上席執行役員	荻原 俊彦	執行役員	依田 稔久
		執行役員	小平 正司
		執行役員	大日方 政史
		執行役員	大日方 隆
		執行役員	南沢 克夫
		執行役員	高柳 秀則

## 株式事務のご案内

### ■株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

(連絡先)

〒100-8212  
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-232-711 (通話料無料)

### ■事業年度

4月1日から翌年3月31日まで

### ■基準日

定時株主総会関係  
配当金受領株主確定日

3月31日  
3月31日および中間配当金の支払いを行う  
ときは9月30日

### ■公告方法

電子公告  
当社は、公告を下記ホームページに掲載して  
おります。

<http://www.shinko.co.jp/ir/kk/>

ただし、事故その他やむを得ない事由によっ  
て電子公告による公告をすることができない  
場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他の各種お手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）にお問い合わせください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記の連絡先にお問い合わせください。三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取り次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



## 新光電気工業株式会社

〒381-2287 長野県長野市小島田町 80 番地  
電話(026)283-1000〔代表〕 FAX(026)284-8861  
ホームページ <http://www.shinko.co.jp>



地球環境に配慮した大豆油  
インキを使用しています